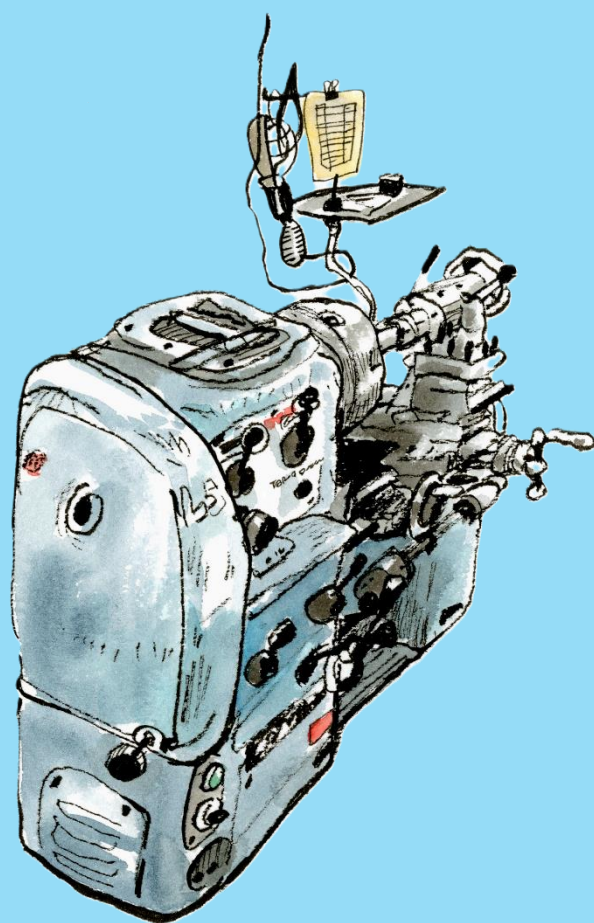


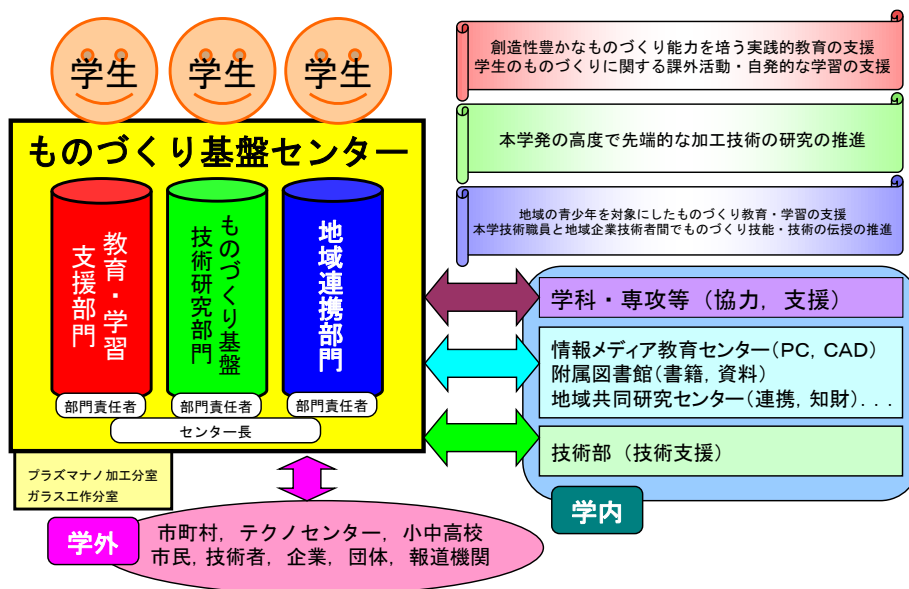
1. センター紹介



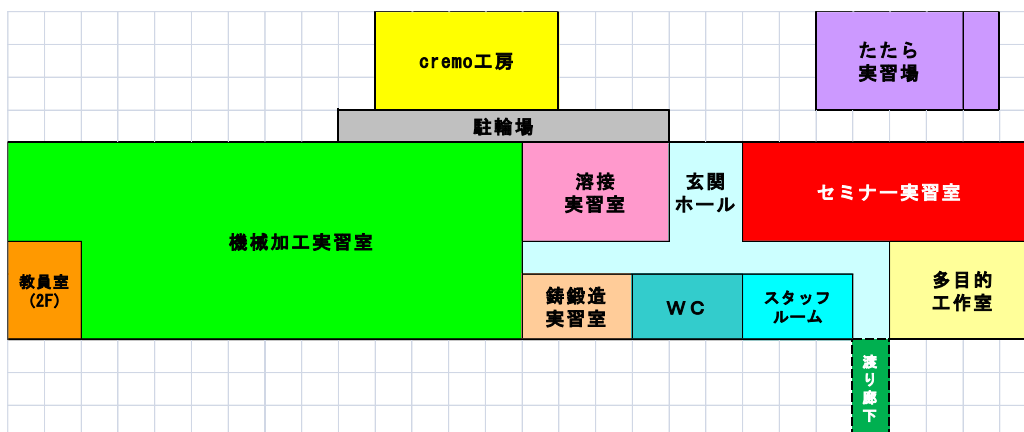
1.1 センター概要

ものづくり基盤センター センター長 清水一道

学内にもものづくり教育，創造性教育を实践，体現できる場を生み出すことで，創造性豊かな人材を育成することを目標として，平成17年度に「ものづくり基盤センター設立準備室」を設置して具体的な作業を進め，平成18年1月26日，「ものづくり基盤センター」を設置した．文部科学省平成18年度から22年度 特別教育研究経費（教育改革経費，特別経費）ならびに学内予算措置により，旧実習工場の耐震補強および改修工事，設備機器類の整備更新，センターの運用，各種事業等を進めてきた．組織や施設等の概要，設備や運用内容の一部を以下に示す．



組織の概念図



フロアプラン（本館）の概要

センター設備・機器・システム

センター本館ならびに関連施設として、機械加工実習室 (C150)、溶接実習室 (C151)、鋳鍛造実習室 (C152)、セミナー実習室 (C154)、多目的工作室 (C155)、エントランス、cremo 工房、たたら実習場、ガラス工作分室 (休室中)、パーツコーナー (C155 内) を設けており、継続的に整備、運用している。



夜間休日開館

ものづくり基盤センターでは、学生らの課外活動を支援するため夜間開館や休日開館を行っている。今年度の休日開館は減少したものの夜間開館は大幅に増加し、より利便性の高い開館活動ができた。

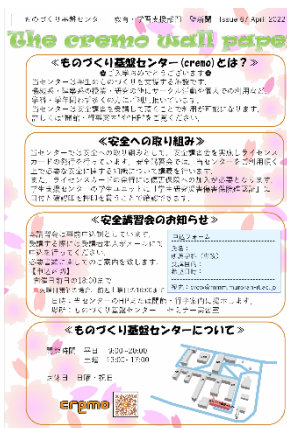
安全向上活動

ものづくり基盤センターでは作業場の安全性ならびに作業者の安全意識を高める活動にも、特に次の点について、積極的かつ継続的に取り組んでいる。施設見学/体験学習におけるリスクマネジメント、実習室での怪我のリスクおよび保護具着用基準、安全確認カメラの運用、ヒヤリハット事例や安全意識喚起掲示、安全講習会の実施とライセンスカードの発行等である。



センター広報活動

ものづくり基盤センターの行事や活動を学内外に伝えるために、以下のような取り組みを行っている。学生や教職員に知らせるための掲示板を使った広報活動。センター内各種情報や利用者数グラフの掲示。センターホームページの更新、運用。教職員向けチラシの作成、配布等がある。以下は年数回発行している壁新聞 (The cremo wall paper) である。今年度の発行回数は三回となっている。



1.2 センター成果

ものづくり基盤センター センター長 清水一道

センターの活動に対する Outcomes の、とりわけ短期間における、厳格な評価は難しい。

これまでの数値等で表れた成果・実績を以下にまとめる。センター活動に対する外部評価あるいは第三者評価とも位置付けられ、Outcomes の判断材料のひとつになり得ると云えよう。なお、これらの成果は、本学学生諸君、学内教職員ならびに地域や卒業生の方々の温かいご理解と献身的なご尽力の賜物である。この場をお借りして、厚くお礼申し上げる。

ー受賞・表彰

2008 年度

- ・素形材センター 第7回ものづくりコラボレーション センター会長賞
- ・ロボコンプロデュースコンテスト 特別賞
- ・室蘭工業大学 蘭岳賞 2 件

2009 年度

- ・博報児童教育振興会 博報賞
- ・サービス産業生産性協議会 ハイ・サービス日本 300 選
- ・素形材センター ものづくりコラボレーション大賞
- ・室蘭工業大学 蘭岳賞 2 件
- ・森精機製作所 第6回切削加工ドリームコンテストアカデミック部門チャレンジ賞
(センター利用作品により)

2010 年度

- ・日本工学協会賞 業績賞
- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2010 第30回全国大会市販車クラス 2 位表彰
- ・室蘭工業大学 蘭岳賞 2 件
- ・2010 年度精密工学会北海道支部学術講演会 優秀プレゼンテーション賞
(センター利用成果の発表により)

2011 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2011 第31回全国大会市販車クラス優勝
- ・平成 23 年度第十回ものづくりコラボレーション特別奨励賞受賞

2012 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2012 第32回全国大会市販車クラス 4 位入賞

2013 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2013 第33回全国大会市販車クラス 3 位入賞

2014 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2014 第34回全国大会市販車クラス 3 位入賞

2015 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2015 第35回全国大会市販車クラス 2 位入賞

ーセンター利用者延べ人数（本学在学学生約 3,300 名）

- ・ 2006 年度 4,000 名超
 - ・ 2007 年度 5,000 名超
 - ・ 2008 年度 7,000 名超
 - ・ 2009 年度 7,000 名超
 - ・ 2010 年度 7,000 名超
 - ・ 2011 年度 2,500 名超
 - ・ 2012 年度 8,000 名超
 - ・ 2013 年度 8,000 名超
 - ・ 2014 年度 7,000 名超
 - ・ 2015 年度 5,000 名超
 - ・ 2016 年度 5,000 名超
 - ・ 2017 年度 5,000 名超
 - ・ 2018 年度 4,500 名超
 - ・ 2019 年度 3,700 名超
 - ・ 2020 年度 1,200 名超
 - ・ 2021 年度 1,300 名超
 - ・ 2022 年度 2,600 名超
-
- ・ 授業利用：2006 年度 2,010 名，2007 年度 2,641 名，2008 年度 3,473 名，2009 年度 3,786 名
2011 年度 2,568 名，2012 年度 2,750 名，2013 年度 3,190 名，2014 年度 3,128 名
2015 年度 2,391 名，2016 年度 2,913 名，2017 年度 2,145 名，2018 年度 1,766 名
2019 年度 792 名，2020 年度 67 名，2021 年度 385 名，2022 年度 690 名
 - ・ 自主利用：2006 年度 938 名，2007 年度 1,810 名，2008 年度 2,264 名，2009 年度 2,359 名
2011 年度 1,715 名，2012 年度 1,897 名，2013 年度 2,003 名，2014 年度 1,861 名
2015 年度 1,960 名，2016 年度 2,241 名，2017 年度 1,513 名，2018 年度 1,527 名
2019 年度 1,718 名，2020 年度 1,025 名，2021 年度 853 名，2022 年度 1,359 名

ー市民参加者数：約 300 名（詳細な人数については地域連携事業一覧参照）